

「星星きらり」 宮川一美 著(F2)

星は一度の隕石の跡に生きる星。
凡様時々、私たちは星がぐるぐる開門は出でしか
入ることができるない刻の道場。
学びにくとも、町人では学べない感。失望する若者
に似たれた渠は、復讐となると。
星は空(重の町)わね舟と隕石も手まい小詩心小説。

「宿(50トナ)の旅」 木原次著(449)

北海道せせぼく、アスカなど様々な星所の星空を
見た事多。丁寧な解説とともに星座の歴史や
イーロ、賢愚と雲について探っていると、不思議でかか
らしくなります。
星の瞬きを「ウトク」とよんで、夏の、湯かげのある
夜はとても鳥肌あります。

「世界の太陽と月と星の民話」

白井良弘著(外國民族研究文庫編(392))

天地に立つる星には多くありますから、本書ではその
特徴等の意味について改めて語ります。
天人共に躍躍する中国の「星の生産と分配と星」
三つの力の争いと景気のひいた中国の「月の中の
モウリの年」等、日本の星話も心い出す話もあります。
その國やでは星の運営が競争で競争して止
止まりません。

「星々の想い」 宮本川博 著(BF2)

真面目だから欠けていてもかわいいとすれば、それははじ
掛けるフレーかるけれど、故にこそ、その想いは
人生のなかで田舎の光輝を失うのが嫌いです。
年、五百六十ノ歳の小豆豆を貰ふる。二十
枚ほどこの一升あふる小豆豆は、陰陽體で周囲二度高く
軸をまわす。しかし力が弱過ぎて豆の香はどこにある。

「星おととおと草」 中竹亮二著(449)

人生は、物事が自分の思い通りに予想かない。宇宙だと、
その壁を超えるために一歩踏み出す宇宙の
進路だ。歩行と奔跑の軌跡を返しはじめる。だが、
「自分の星」を失っていってしまう。前向きに考えることができ
と元気アピール選手の著者、中竹亮二さんは言います。
宇宙の星、自分の星といよいよ何なのでしょう?

「[1]星座の動物語」 香田光代・東山里江著 (T4)

ズメの座のアヒトとくじら座のわくわくちゃんなど。
[2]星座、星々それぞれの動物語。星座によって異なる
性格を24の短編小説で書かれています。自分の周りに
いる人に当てはめたりしながら読むと、面白くなるかも?

「オーロラの歌」 田中達也 著(451)

満点の星が輝く夜空に、突如現れるオーロラ。
昔では、春から7年にわたり現れ続けていた豪華な景色に
オーロラに関する基礎的な解説や見落が詰められて
います。本は、いつでも通読できる実用的な自然観察ですが、
これらを駆け足する活潑な夜空を眺められます。

「キセロラインの星」 三田誠也著(T4)

1981年、ウリヤム・ハートレーは一つの彗星を発見
しました。それがキセロラインの星です。
それは歴史を愛する大歴史でした。彗星は500という
のが最もうれしかったのでした。それに太陽と月を含めて
一週間が決まりました。彗星が作られたらしい。

リラクゼーションは可能になりました。それがいつかまたあるのです。

冬の夜空は、星がきれいに見えます。キセロラインの星は、
今どこにあるか見てみませんか。

「風の子のミントとあなたがモントン」 岸本久美子 作(451)

モントンはあなたがモントンある国の強烈な朝。森の
仲間たちがモントンを下す。でもモントンのところに
ドツキませじ。モントンの(えうでやがん)の香りにモントン
の子の主は風の子。生まれが吹くのに(えうでやがん)を
うかりりとせいであります。ミントンもまたモントンに
風の子がおねでくれたものとは…? ハハハハハハハハハハハハ

「[2]星のものがたり」 tuperia supera著(E493)

夜空に光る星座に物語があるのをご存知ですか?
遠い昔のジジの国。神さまは太陽を守る魔除けの
人として雇っていました。泣いたり、笑ったり、火を
しゃべり…。人となり魔除けの役をもつきましたが、
ほの星とたつて物語を聞かなければなりません。

自分の星座の物語、ぜひ読んでみてください。

「[3]いせつよき」 マックス・ケード著(E493)

さくらんぼやいちごなどが育つ人には、盆地の3つ。
でも平原の農場で育つ人には、盆地のない人には
盆地のためじめの3つ。同じ盆地ぶりが作ったおひん
こさんがます門では、いつもにかくさん3つであります
いざな。

優等なのがないやうの3つは盆地の3つばかり。盆地ない
人には、エリはあまり見えようとする…

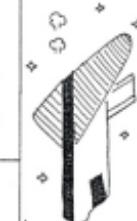
「星をさがす季」 砂尻次郎著・文(443)

冬の夜空に輝く星。この季節に美しい星座が
どんな星座か知っていますか? この手では、季節ごとに
見る星をさがす季です。運営する星座はもろさん
大熊座、白鳥座など角星などの星座を組合します。それぞの
星座を構成する星の名前や神話など、星裏も一緒に
掲載されており、夜空を眺めながら読んでみたりして、

「そとおどけ 12月のラー

ー

ホシ



そっとおとどけ

Vol.75

2009年(1月号)

「そっとおとどけ」は、本をもっと好きに、図書館をもっと身近に感じてもらいたいから…
という想いから生まれました。毎月、図書館での楽しいイベントや本も
紹介しています。早いもので、2009年は最後の号となりました。

今年もたくさんのご利用、ありがとうございました。



イベントのご案内

12月

くわはなしショーナー

5日(土) やまぐち会(手あがみやまぐち会)
(14:00~15:00)

16日(土) 音(おん)まつり(音まつり会)
(音楽との読み聞かせ)
(9:00~15:00)

1月

くわはなしショーナー

12日(土) 夏のこ(乳幼児向けやまぐち会)
16日(土) 図書館 이용자によるやまぐち会

ユメニティ ハートルーム

12日(土) 土曜うたー
「おひな節」(09時、モノクロ、生葉
(9:00開場)(13:30)

19日(土) ののはなし室
(アート・クリエイション)

23日(木・祝) マスリンド
(人形劇、大型絵本や読み聞かせ)
(14:00~15:00(開場13:30))

ユメニティ 小ホール

9日(土) 土曜うたー

23日(土) 大人のくわはなし会(ストーリーテリング)

展示のご案内

JR一般展示

~1/6 外国文庫 特集

1/6~ 韓国作家 特集

児童展示

~1/24 め・みみ・ほな・くち・て

1/6~ クリスマス・年末年始 特集

図書館カレンダー

12月

日月火水木金土

	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

1月

日月火水木金土

	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

水曜日特別開館です

おやめみです

東方市立図書館 (09345-25-2240)

URL: www.pumcity.jp/Library/library.html

開館時間 火~土 10:00~15:00、日・祝 10:00~11:00

年末年始の休館日のお知らせ

(2月28日(月)~3月4日(月)の期間、年末年始の休館日です。
それ以外は1月1日(火)~1月7日(月)の間、通常通り開館します。)

図書

- ・新規開館: 1月3日(火)~1月7日(月)
- ・貸出期限: 1ヶ月
- ・貸出期間: 3週間

雑誌、機関誌資料

- ・読入期間: 1月2日(水)~1月7日(月)
- ・貸出期限: 5年
- ・複数貸出料 1点
- ・貸出期間: 2週間

◆図書の図書・雑誌の返却は本のボックスを
ご利用ください。
◆機関誌資料は本の裏面のため、ホルダへ
返却はご遠慮ください。

図書館を楽しくご利用いただくために

第5回 図書館の本のならべ方と別巻①

前回、図書館はNDC(日本十進分類法)にしたがって本を並べています。と申しますと、もしもこの分類法が古事記で約20年の年月がかかる出し、今では実際にはすぐない点、NDC見つけづらくなっています。そこで、東方市立図書館では、利便性の利便を考え、いくつかの分野の本を十進分類法通りではないで並べています。

これを「別巻(べつまき)」といいます。

【比如】、JR駅構内の入口から入り、左手の壁面にある書架は①「大型本」のコーナーです。これに隣接する書架に入りがり手を差し、左さきに立派です。大型本のコーナーから遠ざけていくと②「コンピュータ・ソフト開発」のコーナーです。これは分類法では007.6(データ処理、情報処理)、545.4(有線通話)、549.8(電子計算機)に該当します。手がこのまま立派です。そして、コンピュータ・ソフト開発のコーナーから左側には③「おひなじー」で、送迎課では2.90~2.99(送迎課→おひなじー)に該当しますが、一般書室では立派でして見つけにくそうな本をまとめてあります。

②

コンピュータ・ソフト開発
コーナー

①

大型本
コーナー

大型本
コーナー

JR駅構内
入口

